

資料-6

建設施工におけるパワーアシストスーツ 導入に関する取組

令和3年度の検証

検証目的

□ 建設施工への適用性はあるか

- 介護現場、物流現場向けに開発、普及が進んできたPASが建設現場でも有用か
- 苦渋作業の負担軽減、生産性や効率性の向上にどの程度貢献するのか

□ 早期導入に適する工種、作業（ユースケース）はどのようなものか。

● 実現場で検証

- **延べ15現場で実証**
各地方整備局の直轄工事
- **ユースケース**
平常時、災害時（災害復旧）
- **検証PAS**
今年度は16社、23技術のPASを検証（パッシブ 14技術、アクティブ 9技術）
- **検証内容**
 - 平常時**：装着習熟、苦渋作業や疲労の軽減への有効性の検証を9工種にて実施。
 - 災害時**：負荷低減への有効性の検証を実施。

● 成果

- **現場でPASを活用するためのガイドライン**
有効なユースケース（作業工種）、実証PASの特徴、建設施工におけるPASの要求項目

● 各工種毎の検証技術数について

- ① かご工
検証現場数（2現場）、検証技術数（パッシブ 6技術、アクティブ 4技術）
- ② 鉄筋工
検証現場数（3現場）、検証技術数（パッシブ 6技術、アクティブ 5技術）
- ③ 張芝工
検証現場数（1現場）、検証技術数（パッシブ 2技術）
- ④ ブロック敷設
検証現場数（1現場）、検証技術数（パッシブ 1技術、アクティブ 1技術）
- ⑤ L形側溝据付
検証現場数（1現場）、検証技術数（パッシブ 1技術、アクティブ 2技術）
- ⑥ コンクリートブロック設置
検証現場数（1現場）、検証技術数（パッシブ 2技術、アクティブ 1技術）
- ⑦ 法面石材敷設
検証現場数（2現場）、検証技術数（パッシブ 4技術、アクティブ 1技術）
- ⑧ コンクリート打設
検証現場数（1現場）、検証技術数（パッシブ 3技術、アクティブ 1技術）
- ⑨ 地質調査・ボーリング
検証現場数（3現場）、検証技術数（パッシブ 9技術、アクティブ 2技術）